

問一 次は高野切第三種にみられる連綿です。正しく軽快に連綿しなさい。

問二 次の文章を、漢字は行書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

自分の生活の明るい面をより強くみ、暗い面はあまり見ないすべを私は覚えていた。なくて困っているものよりも、現に享受しているものを考えるくせがついていた。こういう考え方がどんなにしみじみとした深い慰めを私に与えてくれたかは、はかり知れないものがあつた。

（ダニエル・デフォーの文章より）

問三 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

多數の人間と戦う時は、こちらが待っていてはいけない。敵が四方から攻めかかるとしても、もしろ、こちらから、一方へ追い回す心で向かっていくべきである。待っていてはいけない。こちらから強く切り込み、敵の集団を追いくずし、切りくずしていくのである。

（宮本武蔵の文章より）

問四 次の蜀素帖を、解答欄の大きさにあわせて調和よく[※]臨書しなさい。

※臨書…古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

（青松勁挺姿）

問五 次の平仮名、片仮名の字源（平仮名、片仮名のできるもとの漢字）を、楷書で書きなさい。

は
ル
ノ
ウ
ミ
リ